



# 幸せを培う学校 東京都立農芸高等学校



近隣の高等学校訪問  
第8回

高校紹介の第8回は農芸高校の小堀卓二(こほり・たくじ)校長をお訪ねしました。

## ★「農業学習は幸せ学習です」

こんな言葉で小堀校長の学校紹介は始まりました。都立農芸高校は明治33年（1900年）に創立、内田秀五郎氏により現在地に招致されました。今年創立122年を迎えた当高校には全日制課程に園芸科学科、食品学科、緑地環境科の3科と定時制課程に農芸科があり、「誠実、勤勉、自主、協調」を綱領に掲げています。園芸科学科では、種蒔から収穫の苦労、そしてそれを「美味しい」と言ってもらう幸せ、食品学科では素材から様々な工夫をして食品を完成させ、喜んでもらう幸せ、緑地環境科では協力し合って庭を造る達成感とそこを訪れる人に幸せを感じてもらう喜び。生徒たちはそういう幸せを共有しつつ、社会人として必要な心構えを学んでいます。

## ★充実した施設と環境

それぞれの科の実習棟のほか、圃場、果樹園、温室など、校地の広さは東京ドーム1.6個分。

温室ではバナナやコーヒーなどの熱帯の植物も育てています。また、草花、野菜などの生産品を販売する売店もあります。

そして都立高校では唯一の馬術部があり、厩舎で2頭の馬を飼育しています。関東高等学校自馬競技大会で優勝を果たしました。



馬術部

## ★地域社会への貢献

園芸科学科ではJR阿佐ヶ谷駅前花壇、都庁の都民広場での植栽を行っています。食品科学科は有楽町の交通会館で「交通会館マルシェ」に出店しました。また「とうきょう総文2022」ではラベル



緑地環境科 卒業庭園

デザインも行ったブルーベリージャムがおもてなし品として配布されました。緑地環境科では日比谷ガーデニングショーに出展したり、交通会館のテラスに庭を作ったりとそれぞれ地域社会と関わり、様々な貢献をしています。地

域の方や企業の方との打ち合わせも多いので、話し方や接客などを実践的に学ぶことができます。

## ★農・食・環境のスペシャリストの育成

緑地環境科の2年生全員が技能士「造園3級」を受験します。その他、初級バイオ技術者認定試験、食生活アドバイザー、農業技術検定など様々な資格取得に向けて学習します。日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会では優秀賞を受賞しました。

## ★進路

大学、専門学校への進学率は約7割、就職が約3割です。それぞれが「自分の得意」を活かして進路を決めています。大学のスポーツ推薦（馬術部）を受けて入学した生徒もいます。昨年度、東京農大へは12名の受験者全員が合格しました。また、就職も3年間の蓄積を土台にして、職業を決めています。宮内庁の造園部に就職した生徒もいます。面接で自分の経験をきちんとPRできるように面接練習もしっかり行っています。



食品科学科 シューカリーム実習



園芸科学科 ナシの摘果

## ★校長先生の思い

「自然は自分の思い通りにならない」。人生の多感な時期に、命と自然を相手にする農業学習の中で成功や失敗を経験し、社会で自立する力と自分のための種を蒔いて、育て、収穫してほしい。1人1人が自分の人生の主役です。

## 東京都立農芸高等学校

住所: 〒167-0035 杉並区今川3-25-1

TEL: 03-3399-0191 FAX: 03-3399-3996

ホームページ: <http://www.nogeih.metro.tokyo.jp>